

安全で安心な暮らしのために

地域で守る子どもたちの安全

昨年新潟市で発生した、児童の下校時を狙った誘拐殺人事件や、今年、川崎市において登校時のスクールバスを待つ児童たちが殺傷されるという大変痛ましい事件が起きるなど、全国各地で子どもの安全が脅かされる事件が後を絶ちません。未来ある子どもたちが、事件に巻き込まれることなく、安心して生き生きと活動するためには、安全の確保が必要不可欠です。今月の特集では、子どもの安全安心を守るための市の取り組みを紹介し、一人ひとりが防犯のために行えることについて考えます。



▲(写真①) 交差点で登校児童の見守りをする交通指導員と地域ボランティアの方々 (写真②) 通学路を地域ボランティアと一緒に登校する児童 (写真③) 4月に行われた『花園地区安全安心パトロール推進協議会』の青色防犯パトロール出発式の様子

【表1】子どもへの声かけ事案市内発生認知件数

期間	件数
平成31年(1月～4月)	21件
平成30年(1月～4月)	15件

+6件

子どもへの声かけ事案

18歳以下に対して、犯罪行為には至らないが『声をかける』、『手を引く』、『肩に手をかける』、『あとをつける』などの行為で、略取・誘拐などの重大な犯罪の前兆として捉えられています。

身近に起きる声かけ事案

市内では、平成31年1月～4月の間に21件の不審者による子どもへの声かけ事案が確認され、昨年の同時期と比較して6件増加しています(表1参照)。

『自転車に乗った知らない人に写真を撮られた』、『知らない人に声をかけられた』など、下校時や帰宅後、休日などに子どもが不審者から声をかけられる事案が相次いでいます(表2参照)。

幸い、重大な事件にはなっていませんが、こうした事案が誘拐などの重大な犯罪の前兆となる可能性もあり、十分な注意が必要です。こうした事案については、最寄

子どもの安全は多くの目で!

昨年の8月に実施した『深谷市小学生通学路諸調査』では、通学路での一人区間が1キロ以上ある児童が224人もいました。

どこで起きるか分からない犯罪から子どもたちを守るためには、多くの大人で子どもを見守る『地域』の協力が欠かせません。地域住民一人ひとりが防犯意識を持ち、日常生活の中でほんの少しでも子どもたちの安全を気に掛けるだけで、多くの目が防犯としての役割を果たし、パトロールなどが行き届かないところまで見守りを広げることができます。

【表2】市内の不審者情報一覧

(平成31年1月～3月末時点)

発生日時	発生事案
1月15日 午後4時	小学生が、「今、暇?」などと不審者に声をかけられた
1月31日 午後3時5分	小学生が、「おうちどこ?」などと自動車に乗った不審者に声をかけられた
3月13日 午後6時55分	小学生が、「ちょっと来て、遊ばない?」などと不審者に声をかけられた
3月15日 午後3時30分	小学生が、自転車に乗る不審者に写真を撮られた

地域総がかりでの

安全対策

『子ども110番の家』と『ふかや防犯協力店』
 声かけやつきまといなどが最も多く発生する登下校時の安全を守るため、学校と保護者、警察、地域が協力して、緊急時に子どもたちが助けを求められる取り組みを実施しています。
 市では、これまで実施してきた

学校・保護者・警察・地域で連携した取り組み



『子ども110番の家』に加えて、子どもに何かあった時の警察への通報や、緊急時に避難できる場所として、4月から新たに『ふかや防犯協力店』を開始しました。
 『ふかや防犯協力店』は緊急時に警察への通報や保護を行うボランティア活動で、現在207箇所の店舗や事業所が登録されています。

『子ども110番の家』
 『子ども110番の車』は、今年新たに開始されるもので、保護者などの車にステッカーを貼りつけ、見える防犯活動としてパトロールの役割を担う予定です。
 いずれも、目印となるステッカーを掲示することにより、犯罪を未然に防止する抑止力としての効果も見込まれます。
 ▲『ふかや見守りカメラ』のステッカー。この他にも『ふかや防犯協力店』のステッカーがあり、店舗入口など目につく場所に掲示されています。『ふかや防犯協力店』や『ふかや見守りカメラ』の登録場所などは市ホームページで確認できます。

犯罪を未然に防ぐ抑止力に！
 『ふかや見守りカメラ』と『子ども110番の車』

みんなが高める

防犯意識

地域に根ざした防犯活動

地域内での犯罪や交通事故の防止を図るため、市内では、現在131の自主防犯組織が活動しており、登下校時の見守り活動や夕方などを中心に地域内の防犯パトロールを実施しています。

登下校時の見守り活動では、日ごろからのあいさつやコミュニケーションを通じて、子どもと地域住民とが互いに顔がわかる関係を築くことで、地域内の防犯意

識の向上を図っています。

また、防犯パトロールでは、青色回転灯や放送設備を装備したパトロールカーなどを使用し、防犯啓発や、地域内の見回りを定期的に行うことで、犯罪を寄せ付けない地域づくりを行っています。

無理なく地域で『ながら見守り』を推進

市では昨年9月に『深谷市登下校安全見守り連絡会』を立ち上げ、連絡会での協議から『子どもの声

による防災無線』を5月から開始しました。地域の方々にむけて、犯罪に巻き込まれやすい下校時刻の防犯活動を呼びかけています。
 また、地域の大人が散歩しながら子どもと一緒に登下校をする見守り活動なども実施しており、普段の生活のなかで、無理なく子どもたちを見守る『ながら見守り』を推進しています。
 地域住民一人ひとりが、『移動しながら』『農作業しながら』など自分ができる範囲で見守りの意識を持つことが、地域全体での防犯活動につながります。
 子どもの安全のために、日常生活のなかで無理せずできる『ながら見守り』から始めてみませんか。

『ふかや防犯協力店』『ふかや見守りカメラ』の登録受付中！

市では、地域の安全を守る『ふかや防犯協力店』と『ふかや見守りカメラ』にご協力いただける店舗・事業所を募集しています。
 安全安心な地域づくりにご協力ください。申し込み方法など、詳しくは市ホームページでご確認ください。



登録していますか？

市メール配信サービス

市が防災無線で発信する災害・防災情報や警察署から情報提供のあった防犯情報を発信しています。

安全安心には、情報収集が重要です。身の回りで起きている事件など知り、犯罪に巻き込まれないよう備えましょう。

【登録するには】

『fukaya@fukayamail.jp』宛て、または、下記QRコードから空メールを送信。その後、返信メールの案内にそって手続き。

※メールの受信制限をしている場合は解除が必要です。



県警メールマガジン 犯罪情報官 NEWS

県内で発生した子どもや女性を狙った不審者出没情報や重要凶悪事件などの情報を発信しています。

【登録するには】

・URL (<http://jyouhoukan.police.pref.saitama.lg.jp/b/9978/692733/71677>) または、下記QRコード

から空メールを送信。その後、返信メールの案内にそって手続き。



安心できる避難場所と犯罪を発生させない地域づくりを

美容室など市内系列店5店舗を『ふかや防犯協力店』に登録しています。美容室は窓が大きく店内から外がよく見えるので、勤務中の従業員が外の様子に気を配れるようになっています。

そのため、緊急時に安心して避難ができる環境づくりを心掛けています。

『ふかや防犯協力店』が、市内の企業や店舗にどんどん広がれば、緊急時の避難場所としてだけでなく、地域の防犯の目として犯罪が起きにくい環境づくりにつながります。犯罪を発生させない地域づくりで、深谷がより安全安心なまちになるといいですね。



(株)ケイズカーサ 専務取締役 斉藤弘樹さん